

5/13 スタートアップセミナー

担当: 松葉

- 班毎に分かれて座ってください
- レポートは講義開始後、指示します。

5/27の講義について

- この講義を取っている人は全員
高分子物理化学基礎をとっているので、
以下のように振り替えます。
- 5/27 10:30-12:00 スタートアップセミナー
21組、22組合同 (221教室)
- 5/27 13:00-14:30 休講

2-1 プレゼンテーションの基礎

プレゼンテーションとは？(vsスピーチとの違い)

- 研究発表・講演(卒業研究発表・学会発表)
- フォーマルな場面で**まとまった時間**話す行為
- 聞き手本位**で話す(present: 贈り物?)

プレゼンテーションにおける心構え

- ① **目的と条件** 情報提供目的 or 説得目的?
発表時間は? 聞き手の人数?
- ② **聞き手を分析する**
知識量(プロフィール)は? 動機づけ(ニーズ)は?
- ③ **時間配分(タイムマネージング)**
初級者→短すぎ ×、中級者→長すぎ ×

2-2 話の組み立て方

序論(導入)



本論



結論(結び)

聞き手の心をつかむ!

- 「表題」について「発表者」が発表いたします
- 目次・話の流れ(聞き手に**全体像**を掴ませる)
- 調査の動機づけ・背景
- 調査結果の趣旨・概要(本論のヒントを提示)

柱を立てて、柱どうしを論理的に繋げる!

- 時系列型: 過去→現在→未来
- 因果説明型: 結論提示→理由・補足説明
- 比較型: 複数のプランを対比しながら説明
- 調査発表型: 問題提起→調査研究→結果→考察**

簡単にまとめる・さらりと!

- 本論で述べたことを**簡潔にまとめる**
- 今後の展望を述べるのもよし
- スライドは1枚にまとめるのが望ましい

2-3 論理性が大切

- ① **聞き手を説得するには?**
信憑性 ← 話し手の善き人格 } **話し手側**
論理性 ← 筋の通った話をする }
感情 ← 感情をこめて聞く — **聞き手側**
- ② **物事を論理的に考えるとは?**
強い根拠 → 主張
└─ データ(客観的根拠・裏付け): アンケート結果
 専門家の意見 など
- ③ 100%は目指さない(95%で十分)

2-4 話し方のテクニック

- ① **言語表現**(言葉の使い方)
+ **非言語表現**(声の大きさ・話すスピード・
身振り・表情・スライド構成など)
効果 = 内容(構成) × 表現(伝え方)
- ② **たとえ話(比喻・例示)で分かりやすく**
(例)ビールの年間消費量が約17000万キロリットル
「東京ドーム〇〇個分」
- ③ **上手に間をとる**
ゆっくり話そう。間をとって話そう。
(聞き手にとって、スムーズに頭に入るように)

2-8 質疑応答の重要性(1)

プレゼンテーションの流れ:

発表7分、質疑応答4分、交代4分(6/10,24)

- 発表だけなら一方向的コミュニケーション
- 卒業研究発表・学会発表など必ず質疑応答時間あり
- 質疑応答→双方向性の確保

質疑応答→何を聞かれるかわからないという不安
嬉しそうに答える(むっとしない)
自分達の発表が正しく伝わったかどうかを
知る指標になる(伝われば、的を得た質問)

13

2-8 質疑応答の重要性(2)

質問の仕方

質問は積極的に行いましょう。的を得た質問が望ましい

- ①フォローできなかった→説明を再度求める
「 」について詳しく知りたいので、もう一度説明していただけますか。
- ②別の考え方を提示してみる(話し手の意見と違う)
こういう考え方もあると思いますがどうですか。
- ③質問時間は長くないように(直球で)
長いと場を壊す。敵対ムードはお勧めしない

回答の仕方

質問者には誠意をもって対応

質問者に視線を向けつつ、全員に対して回答する

①質問内容を整理→②回答→③確認(質問者へ)

答えがわからないとき → 後日回答させていただきます
的を得ていない質問のとき → あっさりとかわす

14

本日の予定

○パワーポイントの使い方

○5/20,27,6/3はプレゼンテーション準備

5/20の班別実施内容

- ①班での役割分担(班長、発表係、など)
- ②表題・主題の決定
- ③プレゼンテーションの構成を決める
- ④スライドの分担(序論A君、本論1はBさんなど)

各自準備: レポート用紙(PCは準備しなくてよい、議事録)

教員準備: 提出された課題2の人数分コピー(希望ならば)

OHPシート

15